

乳幼児医療費助成を



問

子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化する心配も多く、病気の早期発見・早期治療が大切である。子どもの医療費の心配をなくすことは、大きな子育て支援になる。

更別では10月から中学校卒業まで助成するとしている。

中札内は中学校卒業まで助成している。

幕別でも子育て世代から出される要望で一番多いのが医療費の助成である。



町内の病院での様子

子育て支援として、就学前までの医療費助成の拡充を。

町長

医療費の無料化の拡大を求める声が一番多いことは充分認識している。

国の医療制度改革を受けて、今後、北海道がどのような対応をするか見守っており、就学前まで自己負担がなくなるような北海道の医療給付事業の補助要綱となるよう、北海道に働きかけ、できる限り、就学前まで無料になるよう努力したい。

季節労働者対策の強化を

問

季節労働者の冬期間の雇用と生活を支える、冬期援護制度が打ち切られ講習制度が2006年廃止された。

この制度の廃止は季節労働者の生活だけでなく、建設業と業者の経営・地域経済・自治体などにも深刻な影響を及ぼす。

国は今年度から通年雇用

促進支援事業などの実施を行うとしているが、季節労働者の実情が反映されるかどうか不透明である。

従って次の点について伺う。

- ① 町独自の就労・生活相談の窓口を設置すること。
- ② 冬期就労事業などの予算化を。
- ③ 協議会には、季節労働者の意見や要望が反映できるように。

- ④ 道単独の季節労働者対策予算の増額を求めること。
- ⑤ 国に通年雇用促進支援事業予算の増額、実効ある季節労働者対策を講じるよう要請していくこと。

町長

① 現在、労働関係は商工観光課、生活関係は福祉関係の窓口が対応しているが、これらの相談体制の継続と併せて、通年雇用促進支援事業で予定されている雇用促進相談員の活用について、今後、協議会にて検討したい。

② 季節労働者対策として実施している、街路の清掃、歩道の除雪事業は今年度も引き続き実施する。

これ以外の新たな雇用の場の確保は、検討しているが大変難しい。

- ③ 地域雇用対策協議会は、音更町や芽室町など8町で構成する協議会として設立の準備を進めているが、今後、関係団体からの要望や意見を反映できるように取り組みたい。
- ④ 十勝町村会を通じ要請したい。
- ⑤ 予算の増額については、十勝町村会を通じ要請したい。

全道の町村会の活動方針の中でも、季節労働者対策の充実についてだされ、特例一時金の維持を国に要望している。今後も活動を続ける。